

# 入舟・舟江ニュース (26号)

## 「舟江診療所」発①

### ●8/24熊本ミナマタ現地調査へ参加してきました！

百聞は一見に如かず…。ガイドの説明を受けながら、熊本県水俣市内の水俣病ゆかりの旧跡を巡りました。当時加害企業のチツソがいかにずさんな管理で、長きにわたり不知火海沿岸の人々の暮らしと健康を奪ってきたのか…。そして、被害を訴える人々が、理不尽にも国や加害企業のみならず、社会的にも苦しめられ続けているのか…。現地で歴史に触れ、たくさんの学びを得てきました。この問題を我が事としてとらえ支援活動に取りくんでいきたいと思っています(村山)。



## 「舟江診療所」発②

### ●9/22新潟水俣病健診を実施しました！

私ごとですが、今年の新潟県民医連定期総会に参加をし、「舟江診療所における新潟水俣病診察の今…」と題し発言をしたことをきっかけに、4月より新潟県民医連の『チーム・ミナマタ』のメンバーとして加入することになりました。長年にわたり、新潟の水俣病患者さんを支援してきた関川先生に代わり、次代の水俣病健診を担う医師への継続的な支援を行なっていきます。この日は、『チーム・ミナマタ』代表を務める熊本県水俣市「神経内科リハビリテーション協立クリニック」の院長：高岡滋先生にご教示をいただきながら、下越病院の本間副院長をはじめ、岩田医師、菊池医師が健診に参加して下さいました。日常的に水俣病の神経症状に苦しむ患者さん5名に対し、行政への水俣病再申請のための診察を1日かけて実施しました。新潟水俣病原告団の診察を一手に担ってきた関川先生の功績を考えると頭が下がる思いです。今後を担う新潟県民医連の先生方にも感謝の思いでいっぱいです(村山)。



ホームページの紹介→ <https://niigata-min.or.jp/funae/>